

令和6年度のアクションプラン

南部小学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習指導
重点課題	読書活動の習慣化・家庭学習の充実
具体目標 数値指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書目標冊数（低学年100冊、中学年50冊、高学年25冊）を達成する子供が80%以上を目指す。低学年：1学期35冊、2学期45冊、3学期20冊 中学年：1学期20冊、2学期20冊、3学期10冊 高学年：1学期10冊、2学期10冊、3学期5冊 ○ 自主学習に取り組む子供が80%以上を目指す。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書（8:15～8:30）を徹底し、静かな環境で読書をする習慣を身に付けさせる。 ・各学級で本の貸し出しを行う時間を月1回以上設定し、どの子も多くの本に親しめるようにする。 ・委員会が図書室に「おすすめの本コーナー」を設置したり、本を読むことのできるスペースをつくったりすることで、図書室の利用を促し、様々なジャンルの本に興味をもてるようにする。 ・読書の記録を積み重ねる（個人カード等）。担任が毎週月曜日に確認する。 ・家庭での読書週間を設定し、親子読書の機会を設ける。（長期休業中年2回） ・週末に読書の宿題を出し、家庭での読書を推進する。 ・各学年のチャレンジ本を読む。目標冊数を設定したり図書委員会主催の企画を設定したりして達成できるようにする。 ・家庭学習がんばり週間を設定し、結果を各家庭に学年だよりで知らせる。（各学期1回） ・自主学習ノートを展示したり、参考になる自主学習ノートをタブレットを使って家庭でも見られるようにしたりするなど、見通しをもって意欲的に学習に取り組めるよう工夫する。（月1回以上）

南部小学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	豊かな心の育成
重点課題	挨拶の推進
具体目標 数値指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登下校時や校舎内、家庭において自分から挨拶できる子供、挨拶を返せる子供が80%以上を目指す。（挨拶週間の自己評価8点以上の子供の達成率）
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会児童が各学級話し合っ出された挨拶のポイントを掲示や呼びかけで全校に広める。（毎学期） ・運営委員児童とボランティア児童が、1階中央ホールで登校する児童に挨拶する。（毎日） ・運営委員会が中心となり挨拶運動期間を設け、町内毎に登校する児童に挨拶をする。（毎学期） ・運営委員会児童が中心となり、朝の挨拶以外の挨拶（昼、帰り、授業、給食、返事等）にも着目し、手本やポイントを示して呼びかける。（毎学期） ・学級の中で担任や子供同士がフィードバックする時間を確保する。（毎週） ・現状の課題を捉え、全体の目当てか個人の目当てかを精査する。（毎学期）

南部小学校アクションプラン - 3 -	
重点項目	健康・安全指導
重点課題	体力づくりの推進・自己管理能力の向上
具体目標 数値指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しく運動する子供が80%以上を目指す。 ○ セルフマネジメント（自分で決めた早寝・早起きの時刻、メディアの使用時間、1日1回の運動）を達成する子供が80%以上を目指す。
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを感じられるように、スポーツ安全委員会が外遊びを呼びかけたり、昼休みに運動に親しむ集会を企画したりする。また、体づくり、ほぐし運動、縄跳び、ジャンプ運動等の室内でできる運動を集会で発表したり、タブレットを用いて動画として発信したりして、雨天時や冬場も楽しんで運動できるように働きかける。 ・水曜日の縦割り班活動の時間に、ドッジボールや大縄跳びを企画し、集団遊びの楽しさを味わうことができるようにする。 ・月・金曜日のランランタイムで3分間走や体カテストで得点が低い種目に着目した運動に取り組む場を設定し、運動能力を高める。 ・「南部チャレンジ3015」や「とやま元気っ子チャレンジ!」の取組を活用し、児童が運動に親しむことができる環境を整える。 ・学期に1回、生活リズムチェック（早起き、早寝、メディア使用時間）を行い、生活習慣を自分で見つめ直し、管理できるようにする。また、家庭との連携を図る。 ・保健委員会からの呼びかけや保健だより、掲示物等により、年間を通して、早寝、早起き、適正なメディア使用時間の大切さについて、啓発する。